

氏名	柴田 淳也
職名	特定研究員（グローバル COE 研究員）
所属部局（専攻等）	沿岸環境科学研究センター 生態系解析部門
E-mail	shiba'at'sci.ehime-u.ac.jp
これまでの研究の成果、アピールすべき点	
<p>これまでの研究では、生物の安定同位体比を天然マーカーとして利用することで、特に直接観察が難しい湖沼生息地ネットワークでの魚類の移動実態の解明を試みた。これまでの成果から、固有魚を多数有し貴重な生態系である琵琶湖湖沼系において、炭素安定同位体比が生物の出自を推定する有効な天然マーカーとなる事を明らかにし、安定同位体分析に基づく移動調査の結果より、在来フナ類と外来サンフィッシュ科魚類（オオクチバス、ブルーギル）では移動に及ぼす生息地ネットワーク構造に大きな違いがあることを景観レベルで初めて明らかにしている。環境中での生物の移動実態の解明は、各生物の保全策を考える上で重要な知見であるとともに、生物を介した物質の動態理解において様々な洞察を与える。野外サンプルから直接生息地移動の情報を得ることを可能にする天然安定同位体比マーカーの利用手法は、今後、天然の安定同位体比分布に関する知見の蓄積によって、これまで知見に乏しかった野外での生物の移動実態の解明に大きく貢献する成果になるといえる。</p>	
研究業績：主な発表論文名	
<p><u>Shibata J.</u>, Karube Z., Oishi M., Yamaguchi M., Goda Y., Okuda N. Physical structure of habitat network differently affects migration patterns of native and invasive fishes in Lake Biwa and its tributary lagoons: Stable isotope approach. Population Ecology, submitted</p> <p>Kohda M., <u>Shibata J.</u>, Awata S., Gomagano D., Takeyama T., Hori M., Heg D. 2008 Niche differentiation depends on body size in a cichlid fish: a model system of a community structured according to size regularities. Journal of Animal Ecology, 77: 859-868</p> <p><u>Shibata J.</u>, Kohda M. 2007 Diel patterns in reproductive events of the blenniid fish <i>Petroscirtes breviceps</i> in the temperate waters of southern Japan. Ichthyological Research, 54: 412-415</p> <p><u>Shibata J.</u>, Kohda M. 2006 Seasonal sex role changes in blenniid <i>Petroscirtes breviceps</i>, nest brooder with paternal care. Journal of Fish Biology, 69: 203-214</p> <p>坂井陽一, 門田立, 木寺哲明, 相良恒太郎, <u>柴田淳也</u>, 清水則雄, 武山智博, 藤田治, 橋本博明, 具島建二 2005 トカラ列島北部に位置する口之島, 中之島の浅海魚類相. 生物圏科学: 広島大学大学院生物圏科学研究科紀要, 44: 1-14</p>	
学会発表・受賞・その他	
<p><u>柴田淳也</u>, 荻部甚一, 大石麻美子, 山口真奈, 合田幸子, 奥田昇「湖沼水系における在来魚生息地ネットワークの好適性評価：安定同位体を用いた魚類の移動推定」, 『第 56 回日本生態学会大会』, 岩手, 2009 年 3 月</p> <p>山口真奈, <u>柴田淳也</u>, 大石麻美子, 合田幸子, 奥田昇「琵琶湖周辺内湖における動物プランクトン群集-メタ群集の視点からみた群集構造と多様性-」, 『第 24 回個体群生態学会』, 東京, 2008 年</p>	

10月

柴田淳也, 苅部甚一, 大石麻美子, 山口真奈, 合田幸子, 奥田昇「安定同位体を用いた琵琶湖と周辺内湖の生息地ネットワークにおける在来魚と外来魚の生息地間移動の解明」, 『日本魚類学会年会』, 愛媛, 2008年9月

山口真奈, 柴田淳也, 大石麻美子, 合田幸子, 奥田昇「琵琶湖周辺内湖における大型動物プランクトンの群集構造: 湖内環境と空間ネットワークの影響」, 『第55回日本生態学会大会』, 福岡, 2008年3月

合田幸子, 柴田淳也, 大石麻美子, 山口真奈, 奥田昇「琵琶湖 内湖内・間で見られる環境特性と貝類群集の関係」, 『第55回日本生態学会大会』, 福岡, 2008年3月

大石麻美子, 柴田淳也, 山口真奈, 合田幸子, 奥田昇「琵琶湖在来魚の生息適地としての内湖の環境特性」, 『第55回日本生態学会大会』, 福岡, 2008年3月

柴田淳也, 大石麻美子, 山口真奈, 合田幸子, 奥田昇「安定同位体を用いた魚類の生息地ネットワークの解明: 琵琶湖と周辺内湖を例に」, 『第55回日本生態学会大会』, 福岡, 2008年3月

柴田淳也, 幸田正典「ニジギンポで繁殖期の一時期におきる雌間競争での体サイズの影響と先住効果」, 『日本動物行動学会第26回大会』, 京都, 2007年10月

柴田淳也, 由水千景, 大川聡, 西村洋子, 眞壁明子, 永田俊, 奥田昇「生物の安定同位体比から見た琵琶湖内湖の地理的特性と土地利用形態」, 『第54回日本生態学会大会』, 愛媛, 2007年3月

柴田淳也, 幸田正典「ニジギンポにおける巣の多さが性役割決定に及ぼす影響の検証」, 『日本動物行動学会第25回大会』, 岡山, 2006年10月

Shibata J., Kohda M. 「Seasonal changes in sex roles of the blenniid fish, *Petroscirtes breviceps*」, 『11th Congress of the International Society for Behavioral Ecology』, Tours, France, (July 2006)

柴田淳也「ニジギンポにおける性役割の季節的な切り替わりとそれをもたらす要因」, 『日本生態学会近畿地区会』, 大阪, 2004年11月

柴田淳也「ニジギンポにおける求愛する性の季節的な切り替わりとそれをもたらす要因」, 『広島大学生物圏科学研究科応用動物科学セミナー』, 広島, 2003年10月

柴田淳也, 幸田正典「ニジギンポにおける季節的な性役割の転換への巣場所の利用可能性と巣を巡る競争者の影響」, 『日本魚類学会年会』, 京都, 2003年10月

柴田淳也, 幸田正典「ニジギンポ (*Petroscirtes breviceps*) における求愛役割の季節的逆転とその要因」, 『第48回日本生態学会大会』, 熊本, 2001年3月